

観光地魅力度調査報告書

令和2年8～9月

～姫路市版～



公益社団法人ひょうご観光本部

Hyogo Tourism Bureau



調査目的	観光地にて旅行者の動機や周遊ルート、観光費用等の顧客データを収集、地域ごとの訪問客の属性等の傾向を分析し、地域における観光商品やサービスに対する評価を踏まえ、今後の対策に活かすことを目的とする。
調査地域	姫路市
調査対象者	調査地域を訪れた観光客、宿泊客
サンプル数	136
調査手法	QRコードを媒介としたインターネット調査
調査期間	2020年8月～2020年9月

《旅行目的》

- ・姫路城や円教寺を旅行目的とした名所旧跡の割合が非常に高い一方、文化体験の割合がほとんど無いため、歴史を活かした文化体験の掘り起こし・磨き上げが必要と考えられる。

《リピート率・消費額》

- ・2万円以上の割合が約3割を占め、県全域の約4割よりもやや低い傾向にある。
- ・50代・60代は2万円以上の割合が4割前後と高く、県全域の約3割よりもやや高い傾向にある。
- ・約7割がリピーターとなっているが、初めての訪問者に2万円以上の割合が高い傾向が見られる。

《地域への期待度・地域の満足度》

- ・体験・アクティビティ、お土産・特産品への期待度・満足度は、県全域よりも10～15ポイント低く、こうした分野の商品開発や認知度向上が課題と考えられる。

《周遊》

- ・周遊先としては神戸市が最も多いが、約4割は県外（岡山県、京都府、大阪府、鳥取県、徳島県）が占めるため、近隣府県と連携した周遊コースの開発などが課題と考えられる。

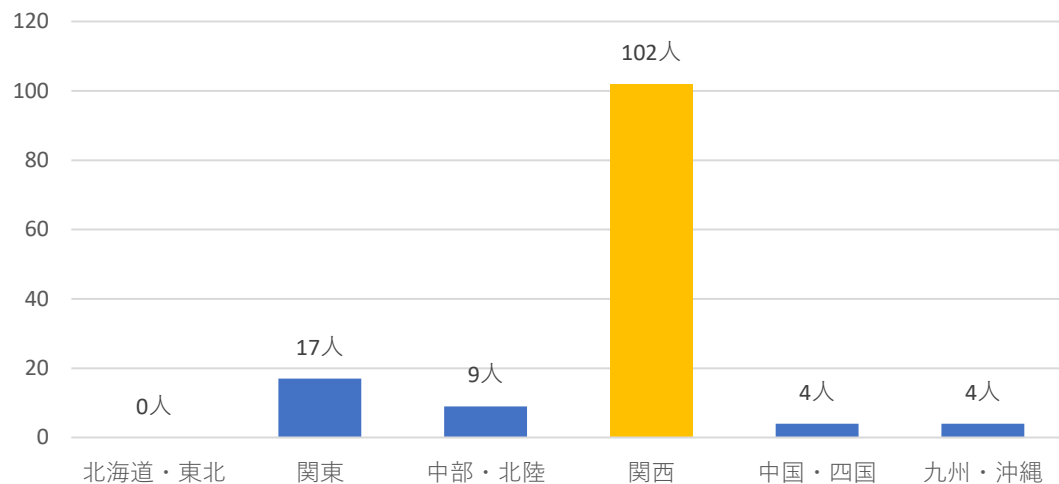
回答者属性

居住地



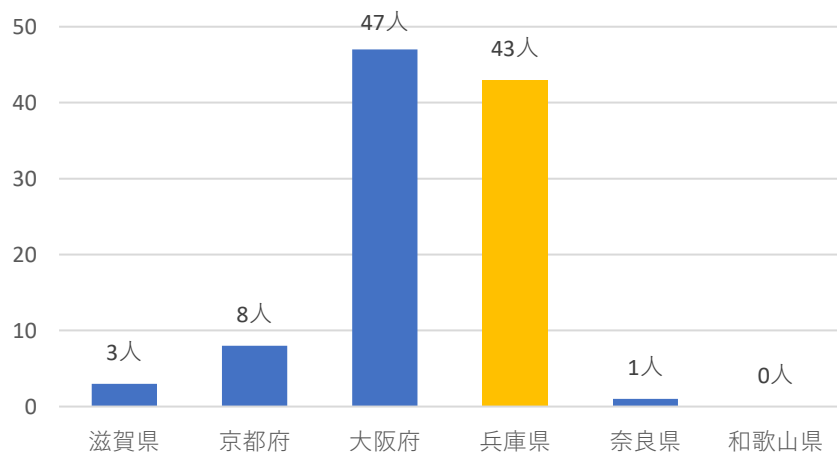
居住地

N=136



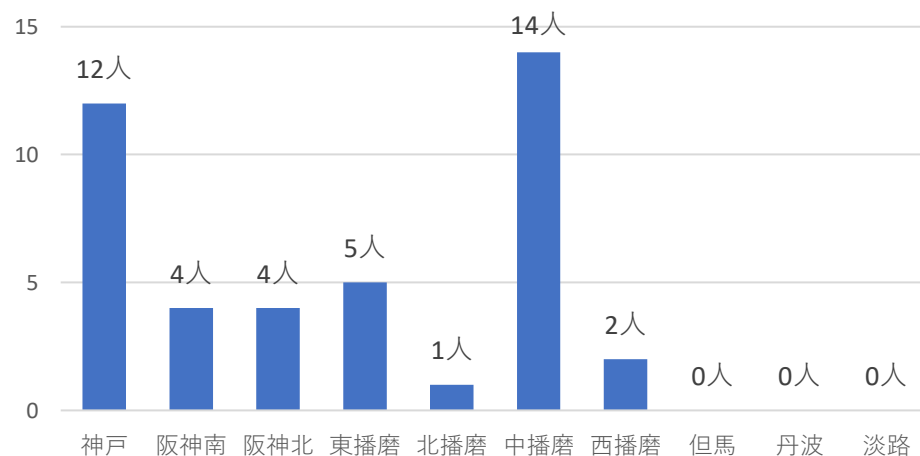
居住地（うち関西）

N=102



居住地（関西のうち兵庫県内）

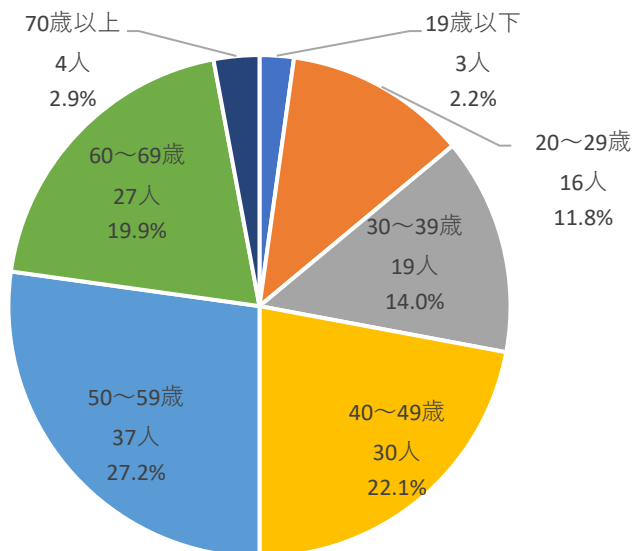
N=42 ※不明：1



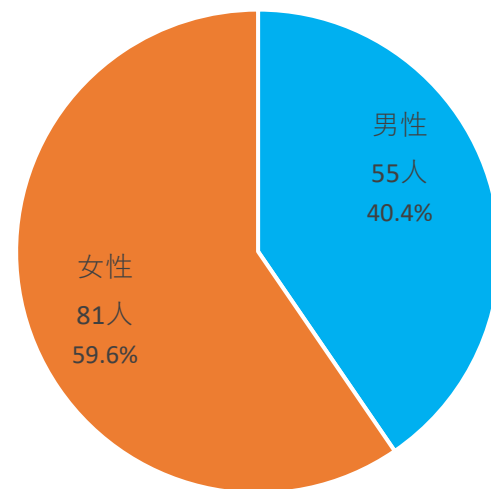
年齢・性別・同行者



年齢



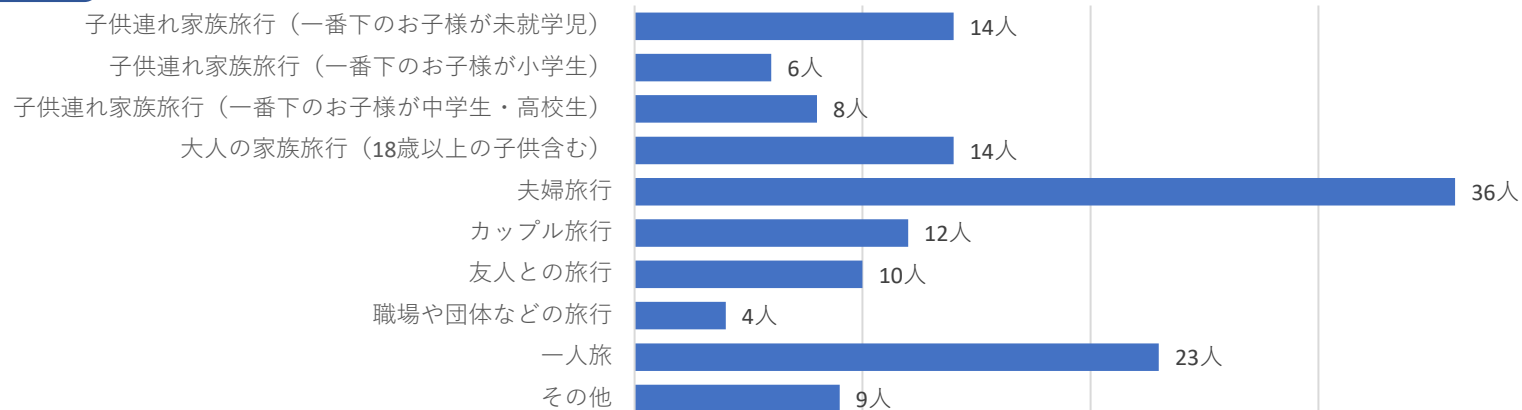
性別



N=136

N=136

同行者



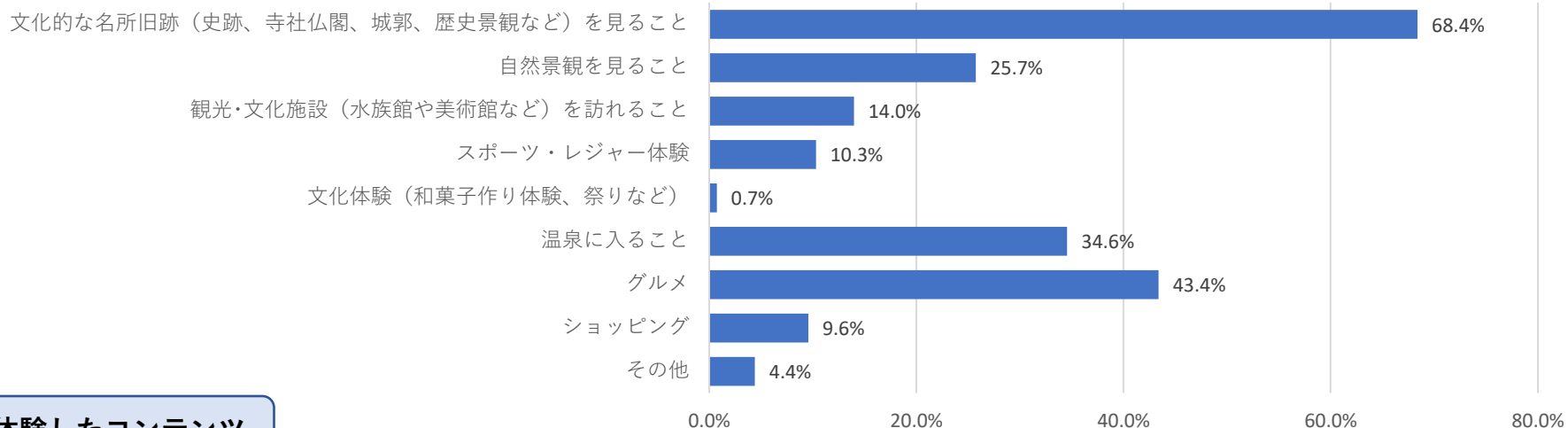
N=136

調查結果

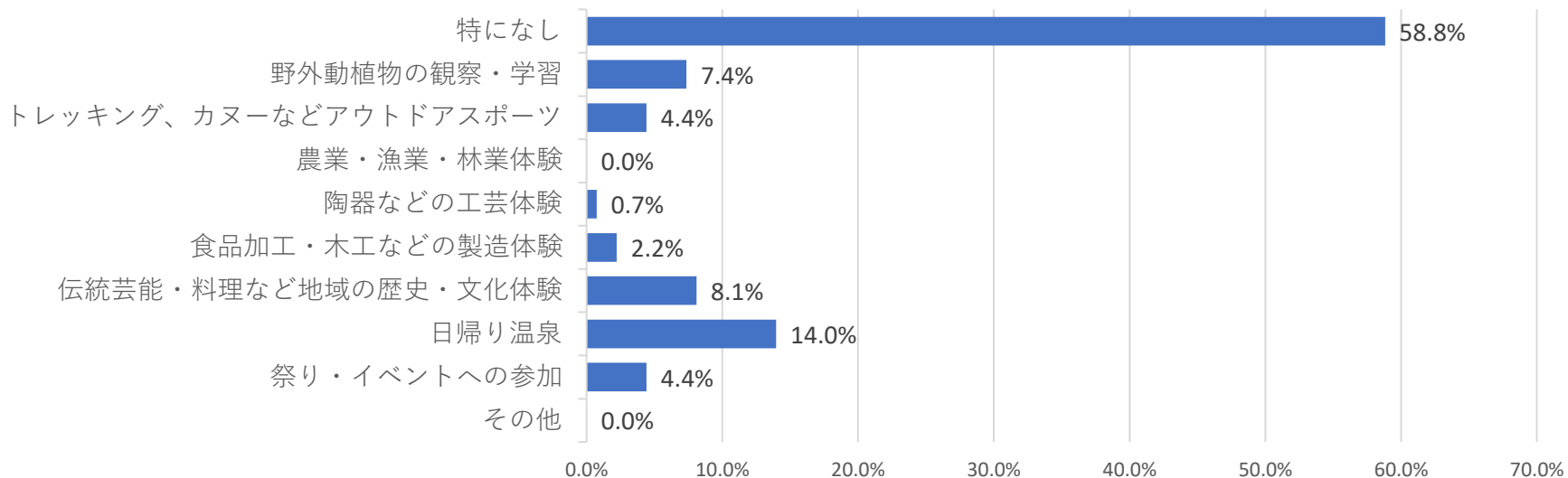
旅行目的・体験したコンテンツ



旅行目的



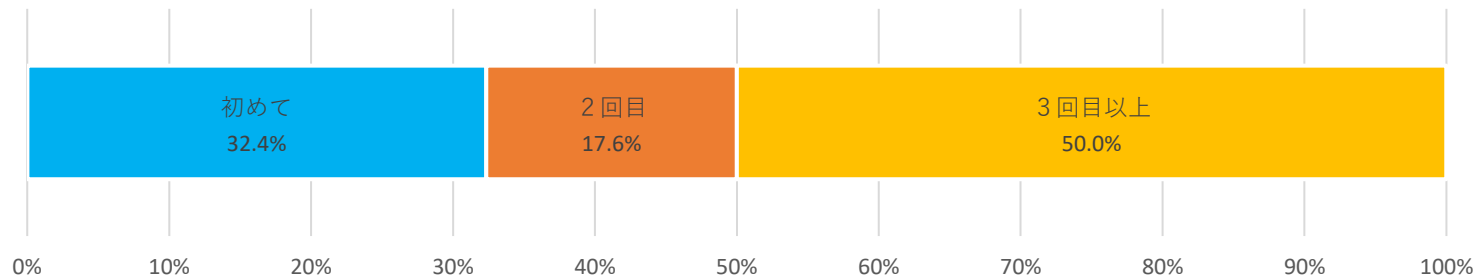
体験したコンテンツ



リピート率・消費額①

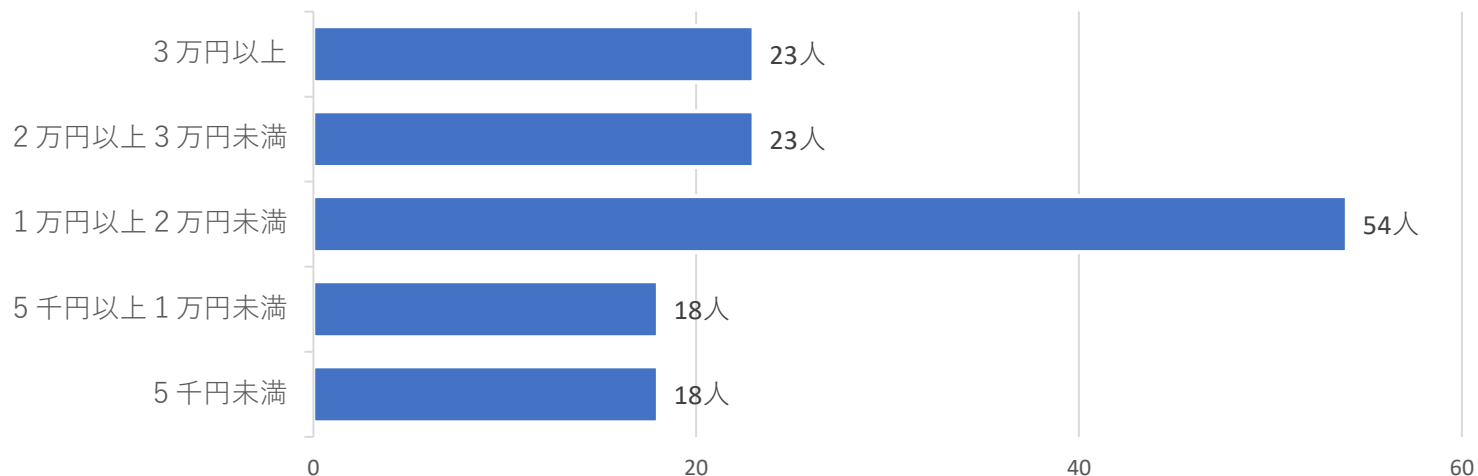


リピート率



N=136

地域内での消費額

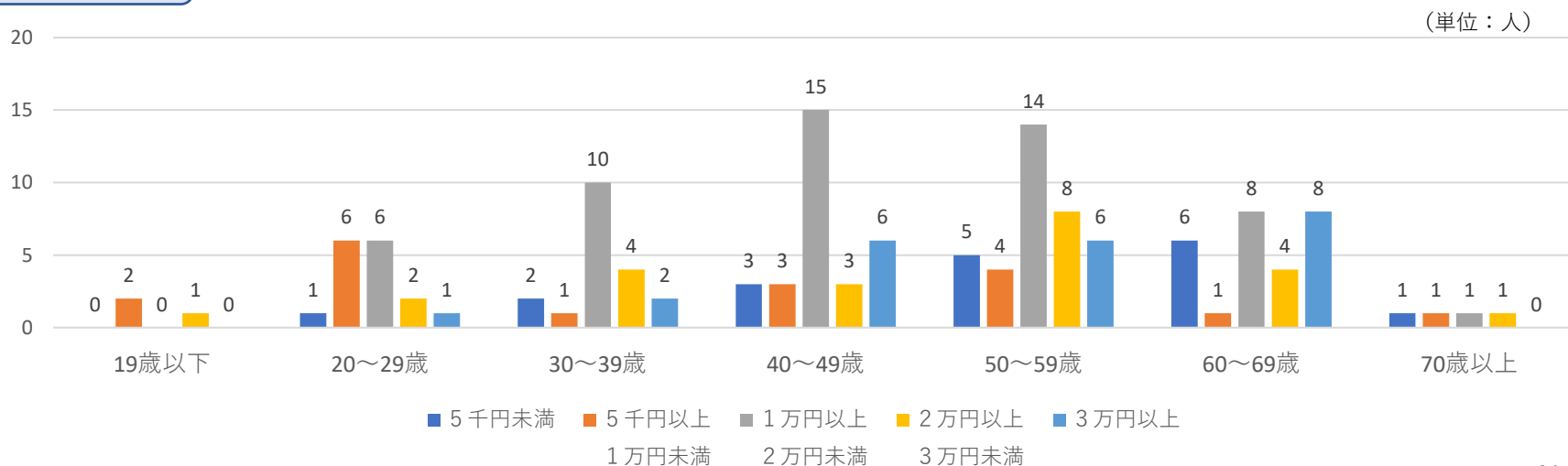


N=136

リピート率・消費額②

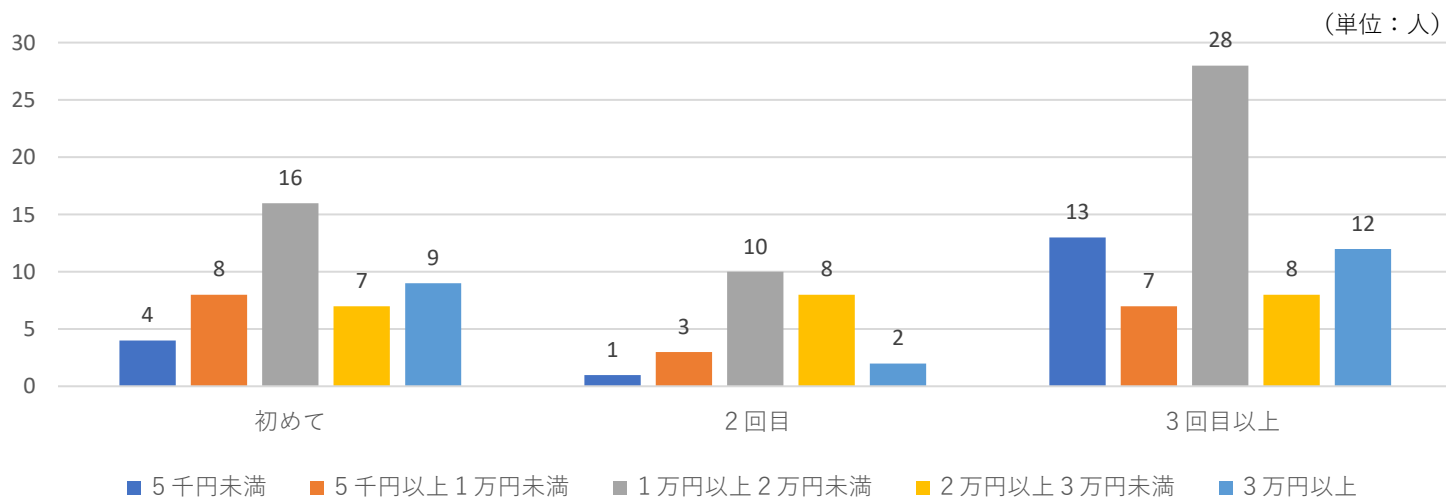


消費額×年代



N=136

消費額×リピート率



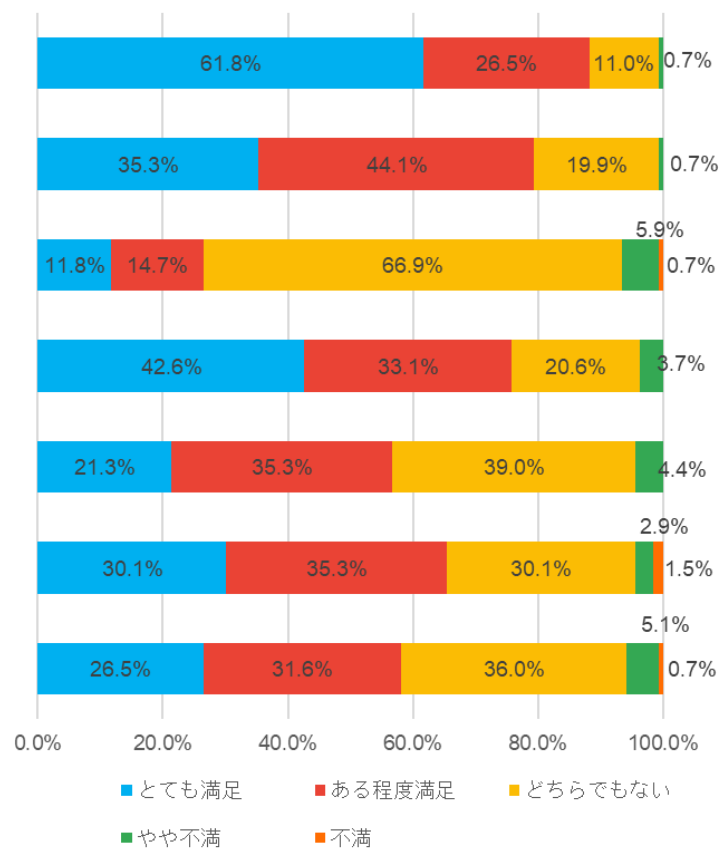
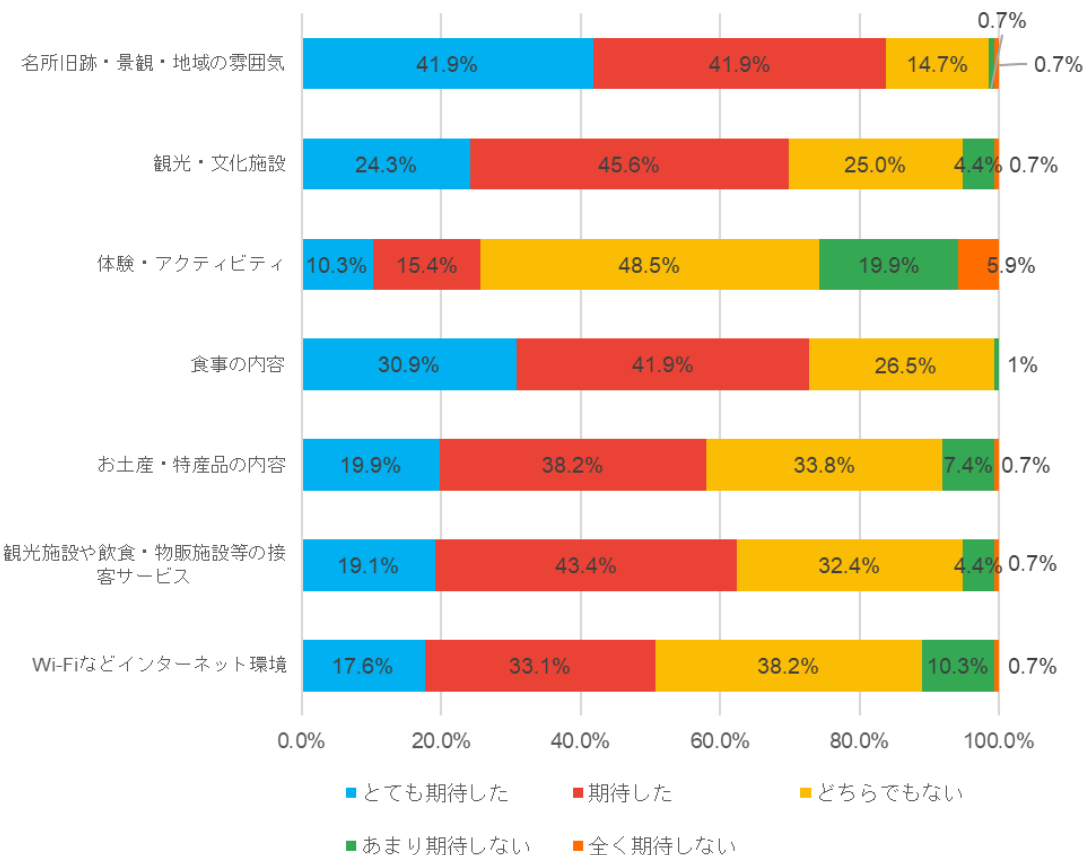
N=136

地域への期待度・地域の満足度



期待度

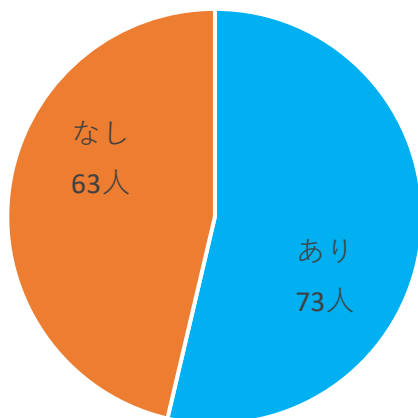
満足度



周遊の有無・周遊先

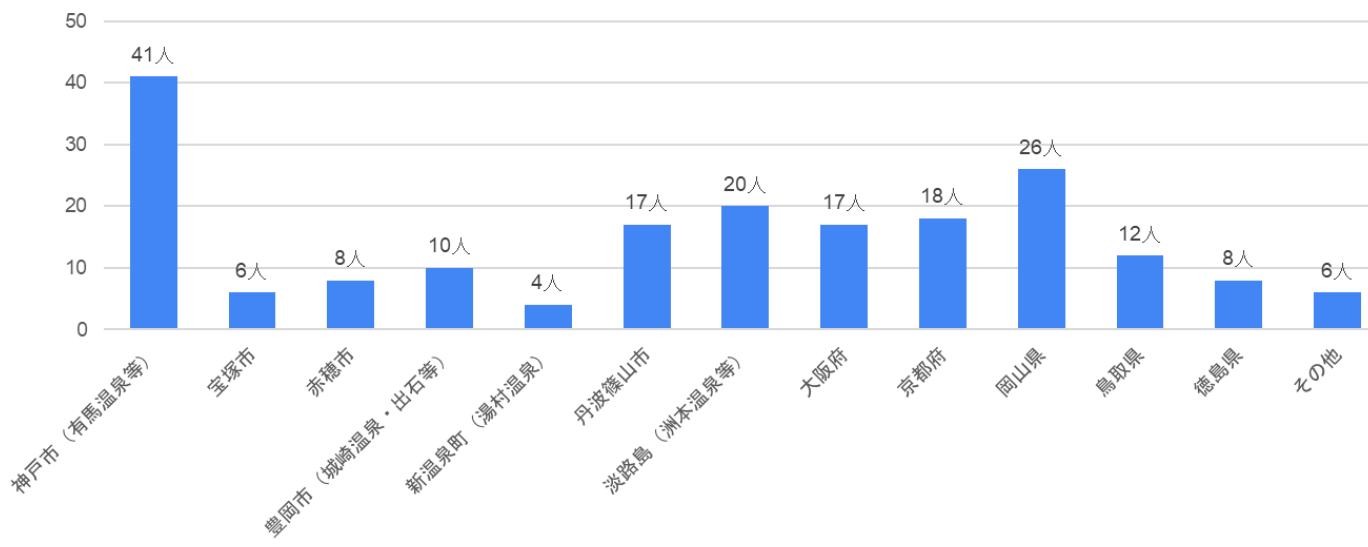


周遊の有無

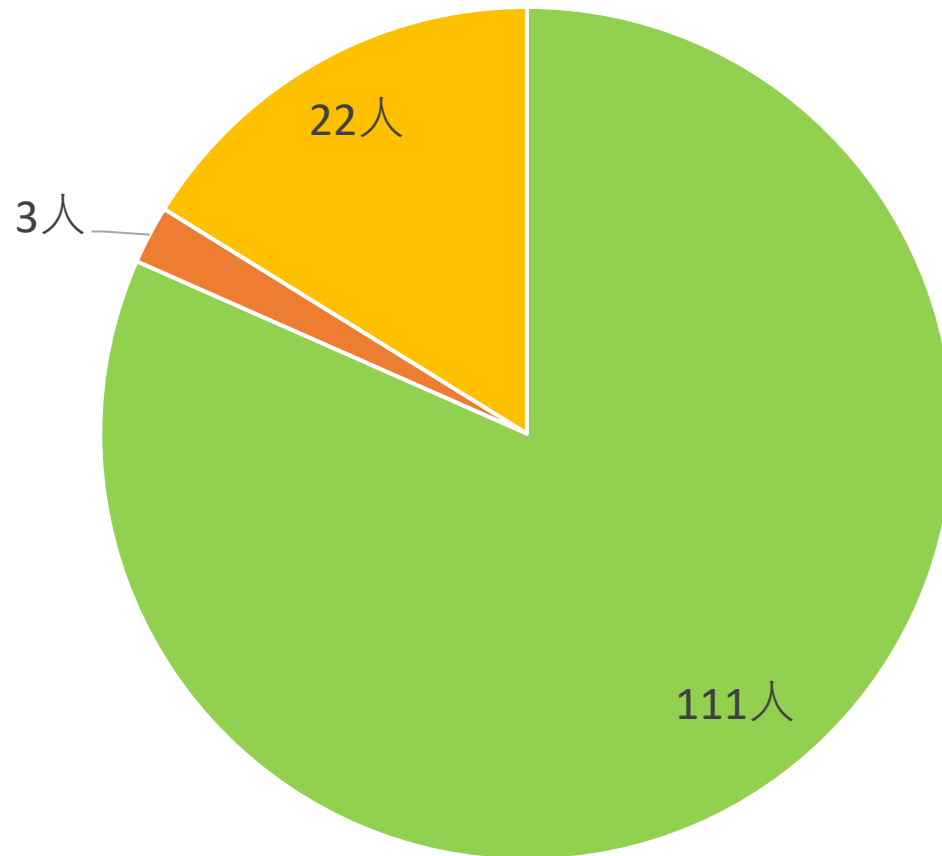


N=136

周遊先



N=193

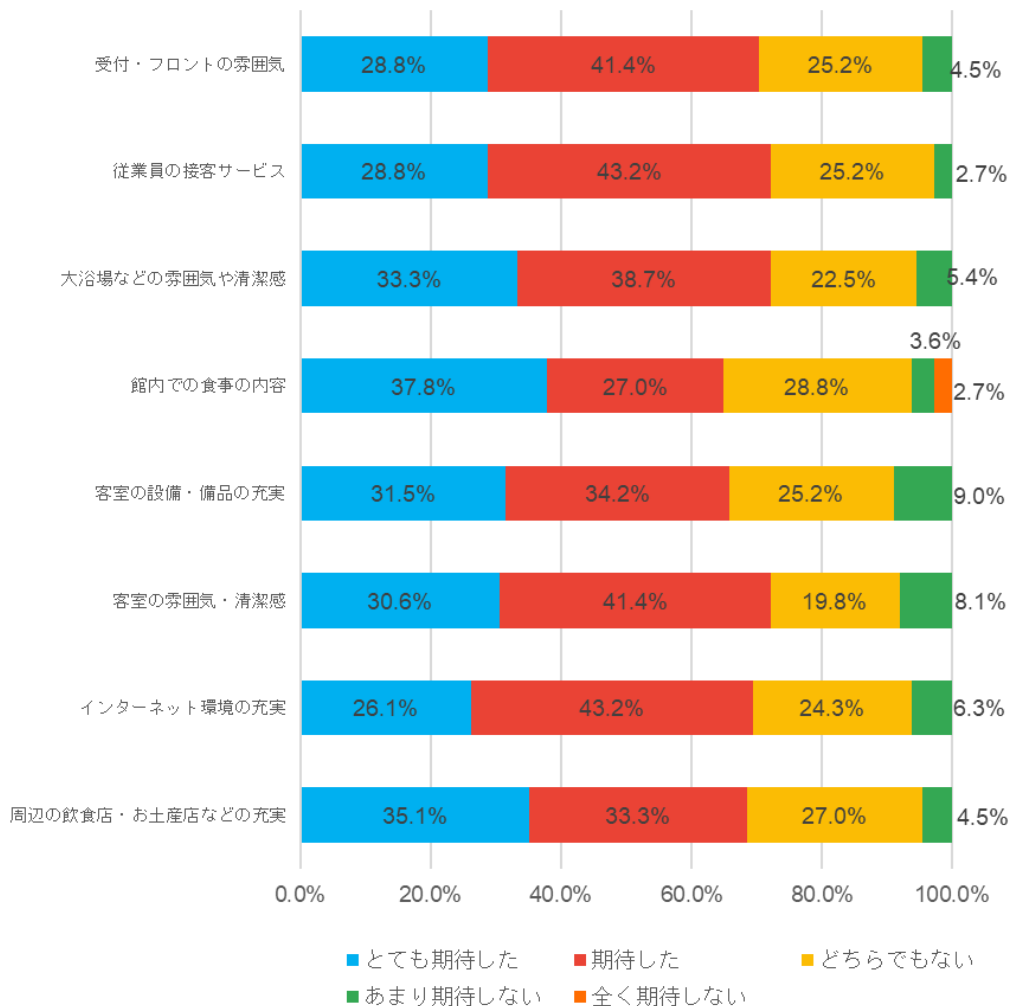


- 宿泊あり（姫路地域内での宿泊を含む）
- 宿泊あり（姫路地域内では宿泊しない）
- 宿泊なし（日帰り旅行）

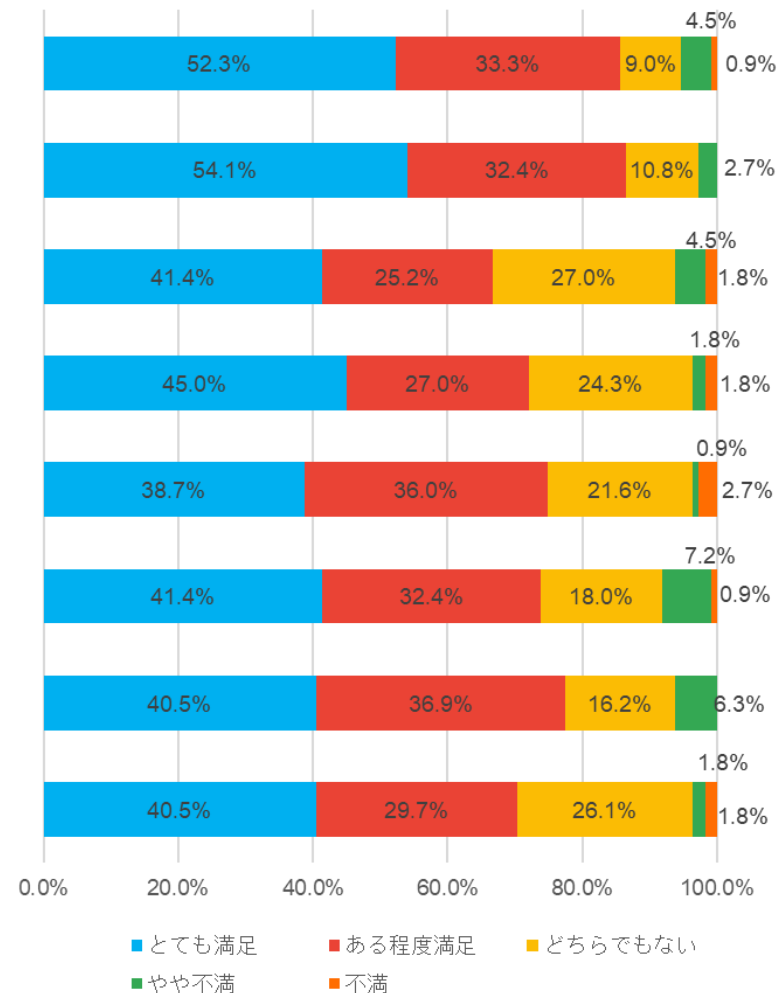
宿泊施設への期待度・宿泊施設の満足度



期待度



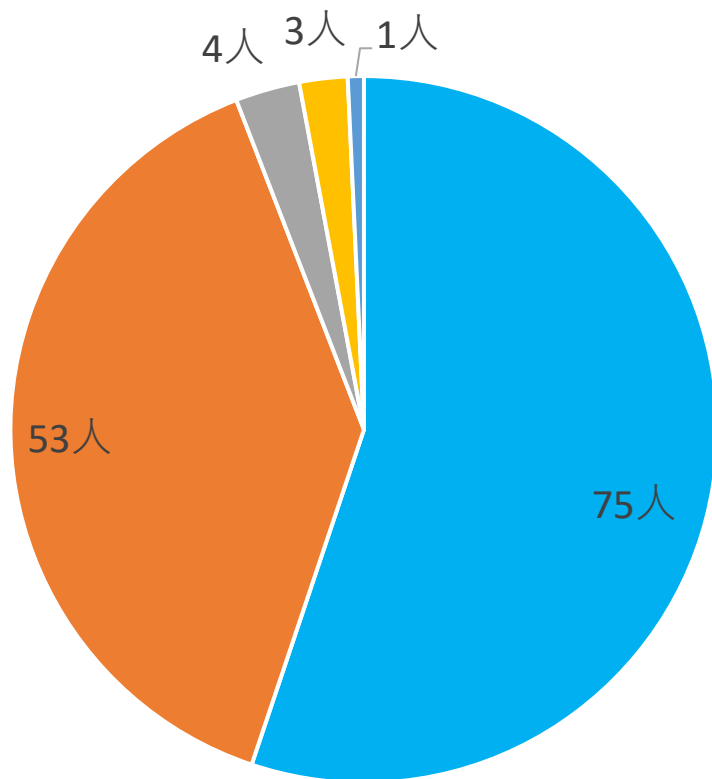
満足度



地域および宿泊施設の再訪意向



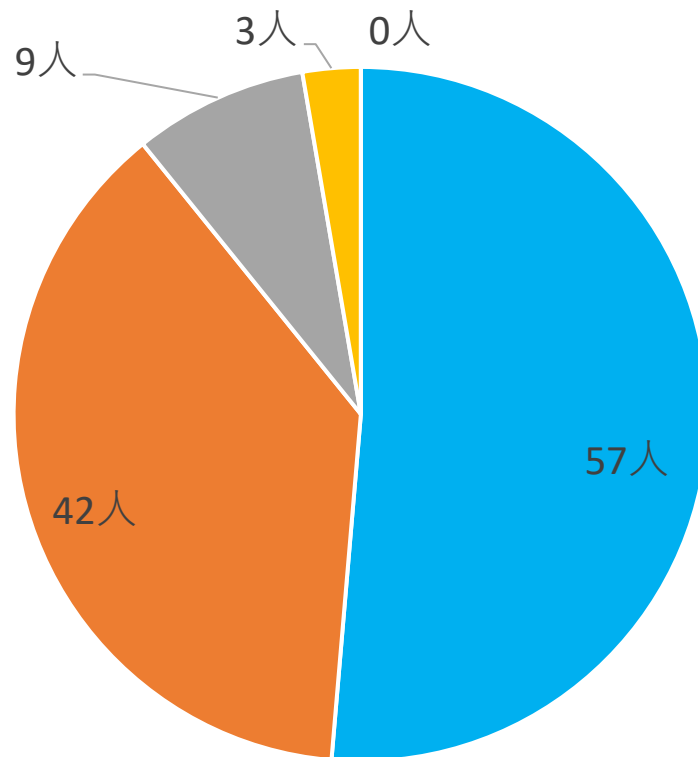
地域への再訪意向



- ぜひまた訪ねたい
- 機会があれば訪ねたい
- どちらでもない
- あまり訪ねようとは思わない
- 訪ねたくない

N=136

宿泊施設への再訪意向



- ぜひ利用したい
- 機会があれば利用したい
- どちらでもない
- あまり利用しようとは思わない
- 利用しない

N=111